■ 公共施設等の整備方針

❶ 道路・橋梁

- ✧ 主要道路は、地域の実情に応じて、バリアフリー化など安全で快適な道路空間の創出に努めるとともに、新駅の周辺においては、無電柱化など、防災機能の強化や良好な景観の形成を検討する。
- ✧ 地区内道路は、新駅や小学校、運河などの拠点をつなぐ道路として、主要道路に準じた機能を確保するなど、まちづくりの進捗に合わせて、周辺環境と一体的に安全で快適な道路空間となるよう、適切な手法を検討する。

❷ 公園・児童遊園

- ✧ 公園の整備、改修などの際には、利用者のニーズを踏まえて、設置する遊具や植栽を選定するなど、特色ある公園づくりを推進する。
- ✧ 誰もが安心して利用できる公園を目指し、バリアフリートイレの整備など、公園機能を充実させるとともに、かまどベンチ等の設置による防災機能強化を図る。

❸ 潮風の散歩道

- ✧ 散歩道整備を推進し、連続性と回遊性を高めていくとともに、ユニバーサルデザインへの配慮のほか、ベンチ設置や緑化による憩い空間としての機能を充実し維持・管理することで、親水性向上を図る。

❹ 公共交通等

- ✧ 交通事業者や民間事業者、地域住民等と連携し、新駅周辺に充実した交通結節機能の誘導を図る。
- ✧ 地域内の二次交通として、バスやコミュニティサイクルのほか、パーソナルモビリティやグリーンスローモビリティ、ＡＩオンデマンド交通等の次世代交通も含めた移動手段の拡充を検討する。

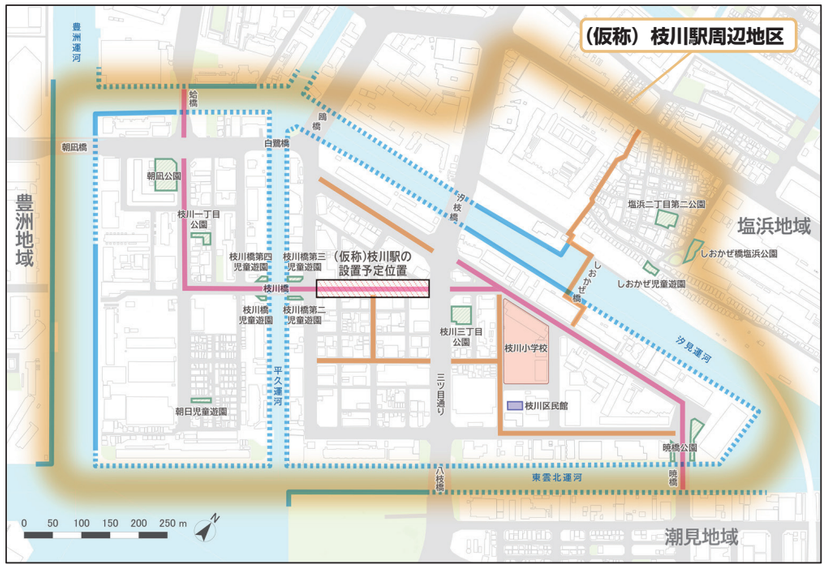
整備方針図

〔主な既存の公共施設〕

- 学校
- 区民館
- 公園・児童遊園
- 潮風の散歩道

〔整備を検討する公共施設〕

- 潮風の散歩道
- 区道（主要道路）
- 区道（地区内道路）



「令和３年度土地利用現況調査」（江東区）を基に作成

■ まちづくりの進め方

今後、本地区でまちづくり事業が行われる際には、区は本方針を基にまちづくりを指導及び誘導していくことで本方針との整合が取れたまちづくりの実現を目指していく。

また、地区計画などの都市計画手続きが必要な手法等、地域への影響が大きなものについては、各関係主体と相互に十分な連携を図りながらまちづくりを進めていく。

連絡先

江東区　都市整備部
まちづくり推進課 まちづくり担当（８号線沿線）
東京都江東区東陽４-11-28 庁舎５階 23 番窓口
電話０３（３６４７）９０２１（直通）

https://www.city.koto.lg.jp/392200/8gou-edamachi.html
（仮称）枝川駅周辺の地区まちづくり　検索

（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり方針【概要版】

■ 本方針の目的

本方針は、地域主体の（仮称）枝川駅周辺地区まちづくり協議会から提出されたまちづくり提案書を受け、本地区におけるまちづくりの方向性を示すとともに、その実現に向け、多様な主体が連携し、まちづくりを推進するための指針として定める。

■ 地区の目指す姿［全体目標］

◆（仮称）枝川駅周辺地区の目指す姿［全体目標］

水辺に囲まれ、安らぎとにぎわいが調和する誰もが暮らし続けたいまち

水辺に囲まれた地域特性を最大限活かしながら、現在の落ち着いたまちと誰もが気軽に利用できる新たなにぎわいが調和し、地域に関わるすべての人が過ごしたく・暮らしたくなるまちを目指します。

■ 地区の目指す姿［基本方針］

◆（仮称）枝川駅周辺地区の目指す姿［基本方針］

安全・安心　災害に強く、いつまでも安心して暮らし続けられるまちづくり

水害をはじめとした災害対策や治安悪化に対する防犯対策、ユニバーサルデザインを推進し、災害に強く安全で、永く安心して暮らし続けられるまちを目指します。

暮らし・憩い　にぎわいとのどかさが調和した住みやすいまちづくり

落ち着いた既成市街地を維持しつつ、新たなにぎわいの創出や生活利便施設の充実により、穏やかで気持ちよく過ごせる住みやすいまちを目指します。

水辺・環境　水辺や緑の魅力あふれるまちづくり

水辺空間の活用を推進し、自然環境の大切さや環境負荷低減に対する関心を高めることで、未来を担うこどもたちとともに、水辺や緑の魅力あふれる持続可能なまちを目指します。

交流・にぎわい　誰もが気軽に交流し、支え合うまちづくり

地域資源を活かした交流機会の創出により、世代や文化、地域の垣根を超えて気軽に交流し、区民一人一人が互いに支え合うまちを目指します。

交通・つながり　まちとまちがつながり、ともに発展するまちづくり

多様な交通手段を活用し、回遊性向上や地域間交流を促進させ、隣まちや地下鉄８号線延伸で結ばれる各地域が、ともに発展するまちを目指します。

■ 土地利用の方針

駅近傍ゾーン

■個別目標

新駅を基点とする交通結節点の形成のほか、飲食店や日用品が買える商業施設などを誘導することにより、周辺地域からの来街者を呼び込むとともに生活利便性の向上を促進する。

■個別方針

✧ 新駅設置に伴う人流変化を見据え、ユニバーサルデザインや安全で快適な機能を備えた駅前空間及び駅周辺環境の形成を図る。

✧ コミュニティサイクルの拡充や次世代交通の導入、自転車駐車場の整備等による交通結節機能の強化及び交通ネットワークの充実を図る。

✧ 業務、商業機能による新たなにぎわいや人々の交流に資する空間の創出を目指し、必要に応じて都市計画手法を用いるなど、土地利用の適切な誘導を図る。

水辺活用ゾーン

■個別目標

ユニバーサルエリアに指定されている運河の水域やその周辺の活用により、多様な人々が集い交流し、にぎわいと憩いが共存した水辺と緑のネットワークの核となる空間形成を促進する。

■個別方針

✧ 水辺のにぎわい創出及び魅力の向上を目指し、運河ルネサンス事業などによる水域利用を促進する。

✧ 運河沿いの低未利用地等を活用し、水辺と緑のネットワークの核となる交流拠点の形成を促進する。

地域コミュニティ拠点ゾーン

■個別目標

地域イベントの拠点や災害時の拠点避難所でもある枝川小学校に加えて、枝川区民館等の公共空間を幅広い世代が様々な目的で活用することにより、良好な地域コミュニティ形成と防災力向上を推進する。

■個別方針

✧ 本地区の防災拠点として防災力向上を目指し、枝川小学校等の拠点避難所機能の拡充や垂直避難への対応を推進する。

✧ 公共施設の長寿命化を図りつつ、地域コミュニティ拠点にふさわしい新たな活用方法を検討し、交流機会の充実を図る。

複合市街地ゾーン

■個別目標

住宅、商業、工業などあらゆる主体にとって安全で快適、かつ、良好な市街地環境の向上を図る。

■個別方針

✧ 環境負荷の少ない商業施設や公共施設等の充実を図るため、省エネルギー化、再生可能エネルギー導入などの環境負荷低減に資する取組を推進する。

✧ 災害に強いまちづくりを目指し、浸水対応型まちづくりの推進や耐震化・不燃化を促進するとともに、民間団体・企業との災害時協力協定締結の拡充を図る。

✧ 安心して暮らせる生活環境の維持を目指し、街路灯・防犯カメラの拡充や地域と連携した防犯パトロールなどの防犯対策を推進する。

水辺と緑のネットワーク

■個別目標

親水性の向上と緑の保全・充実により、誰もが集まりやすい、潤いと憩いの空間形成を推進するとともに、運河でつながるまちとの結びつきを強化する。

■個別方針

✧ 潤いと憩いの空間形成を目指し、潮風の散歩道の整備とともに、民有地を含めて緑を育成することで、連続性のあるグリーンインフラの形成と地区内の回遊性向上を図る。

✧ 他地区の運河ルネサンス協議会と連携するなど、周辺地域とのつながりを強化するため、運河を生かしたネットワークの形成を図る。

交流にぎわいネットワーク

■個別目標

安全で快適な歩行空間の確保に加え、多様な活動が繰り広げられるにぎわい空間の創出や、魅力的な店舗等を拡充し、それらを巡る楽しみを生み出すとともに、隣接する「塩浜地域」、「潮見地域」、「豊洲地域」とのつながりを強化する。

■個別方針

✧ 歩道拡幅や無電柱化等により、各ゾーンを安全で快適に結ぶとともに、官民一体で様々な制度の活用による交流とにぎわいの空間創出を図る。

✧ 隣接地域と総体的にまちの魅力向上を目指すため、人々の関心を集める店舗等を誘導し、本地区に訪れる機会を新たに創出することで、地域間交流を促進する。

南北交通軸

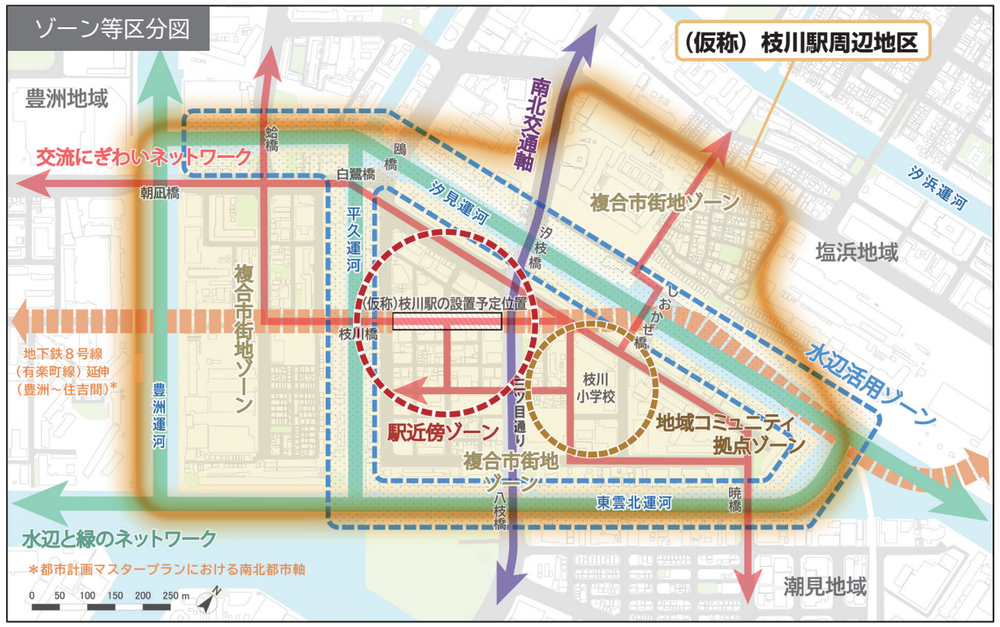
■個別目標

多くの人や物が行き来する幹線道路を通じて、本地区の魅力発信や災害時の広域避難など、隣接のまちに限らず広域的な連携を推進する。

■個別方針

✧ 災害時等の広域避難を確実なものとするため、道路インフラの適切な維持管理を行うとともに、広域防災拠点との連携強化を図る。

✧ 地域ニーズに合わせた多様な移動手段の導入を検討し、誰もが移動しやすい交通環境の形成を図る。



「令和３年度土地利用現況調査」（江東区）を基に作成